

第18回 男女共同参画川柳講評

主に小学校4年生、6年生から寄せられた計183の応募作品を楽しく鑑賞させていただきました。男女を問わず「私の未来は私のもの!」という意思表示が伝わる作品には心強さを感じ、「今、私の家ではこんなことが起こっているよ」という自然体の作品には、子どもたちの率直かつ鋭い気づきに微笑ましい気持ちになりました。

また、「みんなのそれぞれの違い、認め合おうよ」というメッセージが込められた作品からは、この思いが共有され、みなさんの学校生活がより楽しく安心安全なものになることが期待できました。

何となくモヤモヤしている思いを言葉や文章にすることは、きっと、みなさんの生きやすさにつながることでしょう。今回の川柳作品の応募をきっかけとして、ジェンダー平等への関心が高まることを心から願っています。

四條畷市男女共同参画審議会会長 木下 みゆき

